

平成 26 年度 第 1 回大阪府立布施高等学校学校協議会 概要

■日 時 平成 26 年 6 月 25 日（水） 16 時 3～17 時 50 分 於：校長室

■出席者 協議会委員：久委員（→会長）、金成委員、有田委員

（欠席：浦田委員、塩尻委員、富廣委員）

事務局：中山校長、峯近教頭、富山部長、岡田、伊藤政、麻生、竹内

■内 容（説明および協議）

1. 学校経営計画について（校長）

» めざす学校像—卒業後も成長する人間になってほしい

» 中期的目標

課題：入学時よりの学力レベルの相対的低下

解決のための目標設定

- 確かな学力の育成
- 健全な心身の育成
- 夢・志のはぐくみ

» 本年度の取り組み内容

- プロセスアプローチの考え方で授業充実
ICT 活用、コース制授業、家庭学習充実のための方策
- 基本的生活習慣の確立
- 国際理解・交流：研修旅行の実施
- PTA・保護者との連携
- 他業種若手との交流

2. 協議会委員・事務局紹介

3. 会長選出

会長を久委員に依頼—久委員受諾

会長代理の任命（久会長より）—金成委員にお願いする

4. 取り組みの進捗状況

（1）進路指導について（麻生）

- ・進路結果

 - 国公立は例年並み。私学は一般で伸びず

- ・対策

 - 卒業生の体験講話・指導→生徒のモチベーションアップ

 - 講習充実

- (2) 学力向上に向けて（伊藤）

 - ・職員研修実施→朝小テストの実施、テスト内容の見直し、学力向上委員会の設置

 - ・授業力の向上

- (3) 標準服改訂について（竹内）

 - ・在校生の意見を聞きながら現在作業中

- ▼意見

 - ・ユーザー参加型での設定で行う方がよいのでは→その方向で実施する

6. 学校改善に向けて（協議）

- ・入学時の成績より下がる理由

 - ー私学のがんばりは大きい

 - クラブ主、学習主の生徒に2分するケースも

 - 生徒へのサポートの充実

 - 指導マニュアルの整備、ノウハウの継承（大量退職の影響も）

- ・近大志願者が多い理由

 - ー授業見学等でお世話になっていることもあり、希望が多い

 - 総合大学であり、どのような内容も学べる

 - 通学至便なことを見逃せない

- ・大学でも学校の自主点検、演習中心の授業などで学生の実力を向上させる工夫

 - 布施高校でも、ぜひいろいろ工夫してほしい

- ・「自律心」「モチベーション」をいかに高めるかがポイント

 - 時代が変わっているので、教え方も変えないといけない

- ・すべての教員の足並みをそろえるのは難しい

 - 積極的な教員が引っ張っていく姿勢

 - 教えるテクニックの学び合い、スキルの交流

- ・研究フェロシップへの応募など、モチベーションを上げる工夫を

- ・読書は重要。司馬遼太郎記念館もどんどん利用してほしい。本を読むきっかけ作りに。

7. その他

・平成 27 年度使用教科書採択等について

以 上

※ 第 2 回学校協議会の予定 11 月頃に実施予定（詳細後日）